

Genius English Writing Revised**ワークブック解答に詳細な解説が
加わりました！****塚本 睦子**

授業で習ったことを家庭学習に結びつけ、自学自習できる練習問題集が「ワークブック」である。語学の習得は授業に参加するだけでは難しい。教科書に準拠して作成されたワークブックを利用して学習したことを定着させ、さらに応用問題を解かせて、生徒達の理解度や運用力を強化したい。「書く力」の養成にはワークブックの活用が効果的である。

◆Genius Writing ワークブックの構成**Part 1 (基礎編)**

[A] は教科書のモデル文に出てくる重要表現を練習する。

[B][C][D] はその課で出てくる文法や表現を定着させることを目的としている。問題形式は語句の並べかえ、選択肢を選ぶ、空所に適語を入れる、語句を適切な形に書きかえる、誤文訂正、文を書きかえる、和文英訳などとバラエティーに富む。

[E] は自分のことなどを表現するための自由英作文の練習である。書き出しに続けて書く、手紙の返事を書く、表を見て指示に従って英文を書く、日本文化を紹介するなどがある。

Part 2 (コミュニケーション編)

[A][B][C][D] は Part 1 と同じであるが、[E] はその課で出てきた話題や表現、あるいは文法事項に関連した過去の大学入試問題である。

◆自学自習に必要な解説

Genius Writing ワークブックはこれまで解答だけだったが、「解答がそうなるのはなぜ？」と

いう生徒達の素朴な疑問に応えられるように、今回詳しい解説を解答に加えることになった。

〈例 1〉

Part 1 Lesson 13 [C] 各文の誤りを訂正し、全文を書きかえなさい。ただし、語数は変えないこと。

問題：(1) I was stolen my wallet in the train.

解答：I had my wallet stolen in the train.

解説：「私は電車の中で財布を盗まれた」have+O+過去分詞「Oを～される」。My wallet was stolen in the train. とすると語数が変わるので不可。in the train は on the train でもよい。

〈例 2〉

Part 2 Lesson 7 [B] 日本文の意味に合うように()の中の適切な語句に○をつけなさい。

問題：(5) ヒューイは、ジュリアンをうそつきと呼んだことを後悔した。Huey regretted (to have called / having called) Julian a liar.

解答：having called

解説：regret は to 不定詞と動名詞のどちらも目的語にできるが、意味が異なる。regret to ～「残念ながら～する」(現在・近未来のこと)、regret ～ing 「～したことを後悔する」(過去のこと)。この問題では過去にしたことを後悔した内容なので regret having called が正解。

上記2つの例に見るとおり、丁寧な解説で、生徒の自学自習を手助けしている。また Part 2 [E] 大学入試の過去問題には2種類の解答例および解説があり、受験問題集としても活用できる。

(つかもと むつこ・文教大学兼任講師)